

2020年度
中間決算ダイジェスト

2020年11月13日



2020年度 中間決算ハイライト



【連結】 (百万円)

	2019年中間期	2020年中間期	前年同期比	増減率
経常収益	4,487	4,369	118	2.6%
経常利益	635	193	441	69.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	611	190	420	68.8%

【単体】 (百万円)

	2019年中間期	2020年中間期	前年同期比	増減率
経常収益	4,442	4,326	115	2.6%
コア業務純益	97	63	33	34.5%
経常利益	638	198	440	68.9%
中間純利益	614	195	419	68.2%

連結決算は、3期ぶりに減収・減益となりました。

- ・経常収益 4,369百万円 (前年同期比 118百万円)
- ・経常利益 193百万円 (前年同期比 441百万円)
- ・親会社株主に帰属する中間純利益 190百万円 (前年同期比 420百万円)

単体決算は、3期ぶりに減収・減益となりました。

- ・経常収益 4,326百万円 (前年同期比 115百万円)
- ・コア業務純益 63百万円 (前年同期比 33百万円)
- ・経常利益 198百万円 (前年同期比 440百万円)
- ・中間純利益 195百万円 (前年同期比 419百万円)

【自己資本比率(バーゼル)】

	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末	前期末比
連結自己資本比率	7.85%	7.63%	8.05%	+0.42%
単体自己資本比率	7.84%	7.61%	8.03%	+0.42%

【不良債権比率(金融再生法開示債権比率)】 (百万円)

	2019年9月末	2020年3月末	2020年9月末	前期末比
金融再生法開示債権額	11,458	11,722	12,250	+528
不良債権比率	3.78%	3.82%	3.86%	+0.04%

・連結自己資本比率(速報値)は前期末比0.42%上昇し、8.05%となりました。

・不良債権比率(金融再生法開示債権比率)は前期末比0.04ポイント上昇の3.86%となりました。

2020年度 単体中間決算の概要



(単体) 損益概況

【単体】	(百万円)		
	2019年 中間期	2020年 中間期	前年同期比
業務粗利益	3,125	2,654	470
(除く債券関係損益)	2,908	2,781	127
うち資金利益	2,900	2,815	85
うち役員取引等利益	130	13	117
うち債券関係損益	216	127	343
経費()	2,811	2,717	94
実質業務純益(1)	313	63	376
コア業務純益(2)	97	63	33
業務純益	313	171	485
臨時損益	324	369	+45
うち株式関係損益	1	654	+653
うち不良債権処理費用()	-	214	+214
うち貸倒引当金戻入益	363	-	363
経常利益	638	198	440
特別損益	2	3	0
税引前中間純利益	635	195	440
法人税等()	8	36	+28
法人税等調整額()	13	36	49
中間純利益	614	195	419
与信関連費用() (3)	375	303	+678

1. 実質業務純益 = 業務粗利益 - 経費
2. コア業務純益 = 業務粗利益 - 債券関係損益 - 経費
3. 与信関連費用 = 与信に關係する費用のことで、主に債権の回収が不可能となった場合の「償却額」や債権が劣化したことで積み増す「貸倒引当金繰入額」を示す。
与信先の業績回復に伴い、貸倒引当金の取崩を行う場合は「収益」として計上され、表示は戻入益を示す。

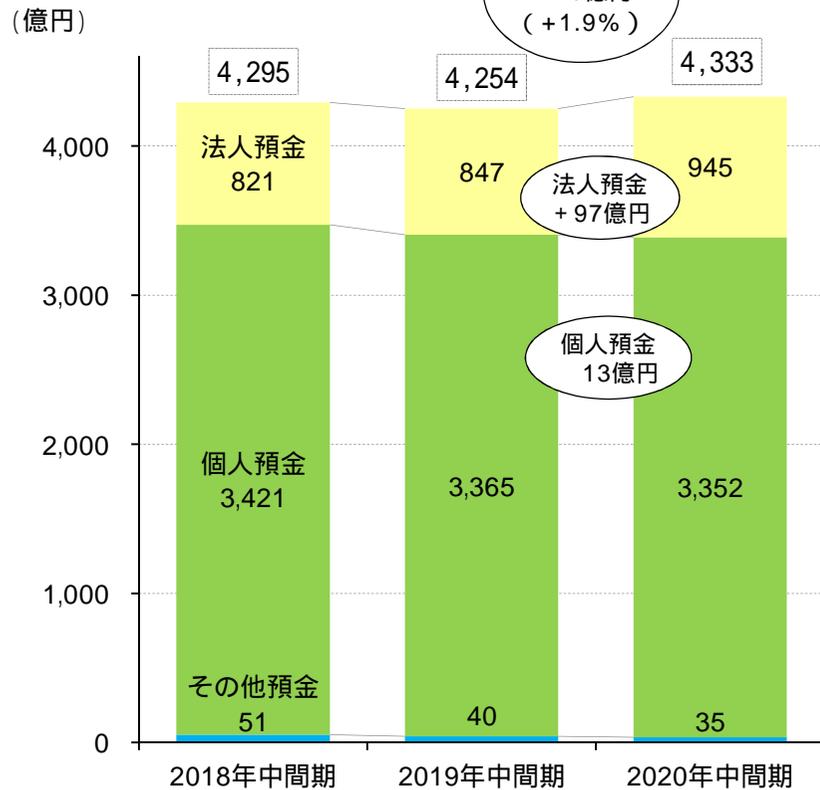
<p>業務粗利益（前年同期比 470百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響による役員取引等利益の減少および債券関係損益等が減少し、2019年中間期比減少いたしました。
<p>経費（前年同期比 94百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費を中心に全ての費目で減少したことにより、2019年中間期比減少いたしました。
<p>コア業務純益（前年同期比 33百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員取引等利益の減少等に伴い、2019年中間期比減少いたしました。
<p>与信関連費用（前年同期比 +678百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍に伴うお取引先の業績悪化が影響し、2019年中間期比大幅に増加し繰入超となりました。
<p>経常利益（前年同期比 440百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与信関連費用の増加等により、2019年中間期比減少いたしました。
<p>中間純利益（前年同期比 419百万円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常利益が減少したことにより、2019年中間期比減少いたしました。

預金（平残）・預かり資産

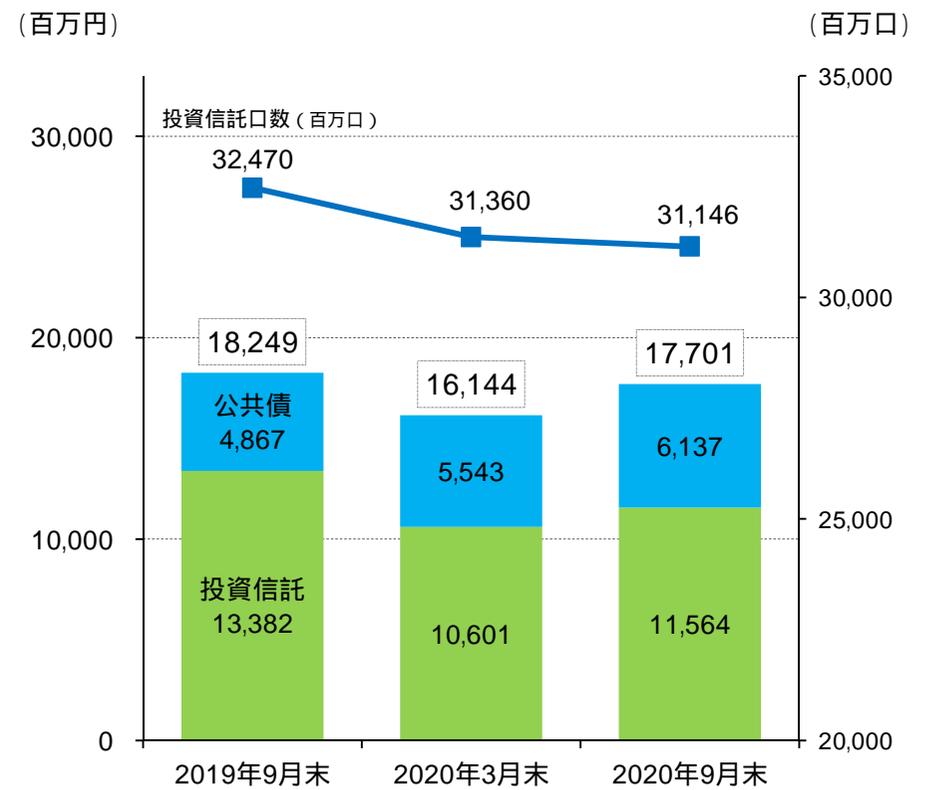


・預金平残は、個人預金等が減少したものの、法人預金が増加したことにより、2019年中間期比79億円増加し、4,333億円となりました。
 ・預かり資産残高は、投資信託および公共債がともに増加したことにより、2020年3月末比増加し、177億円となりました。

預金等平残推移



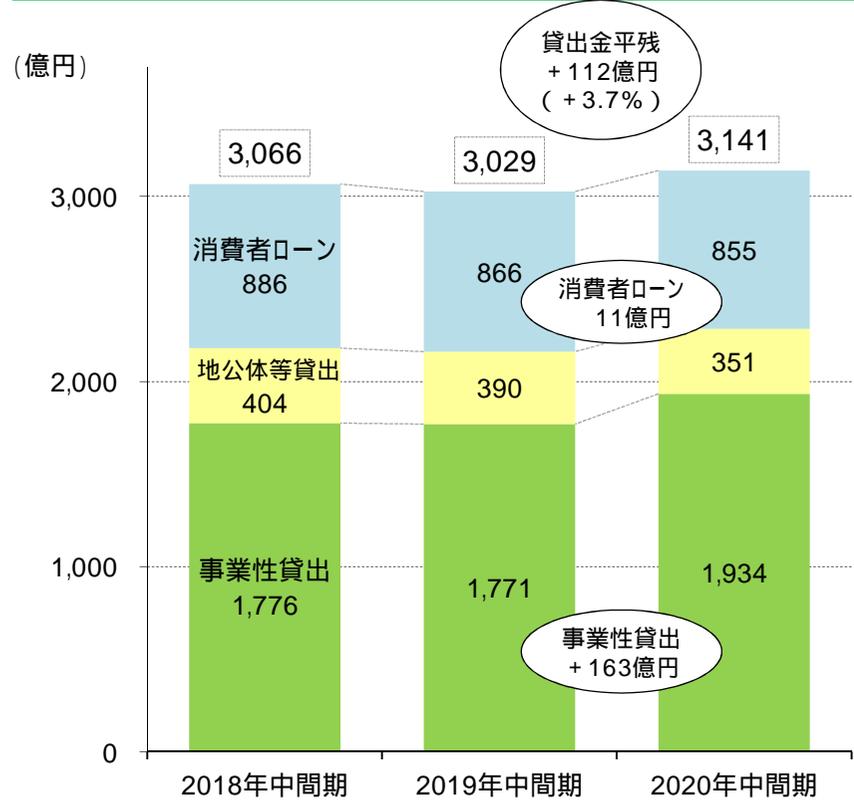
預かり資産残高推移



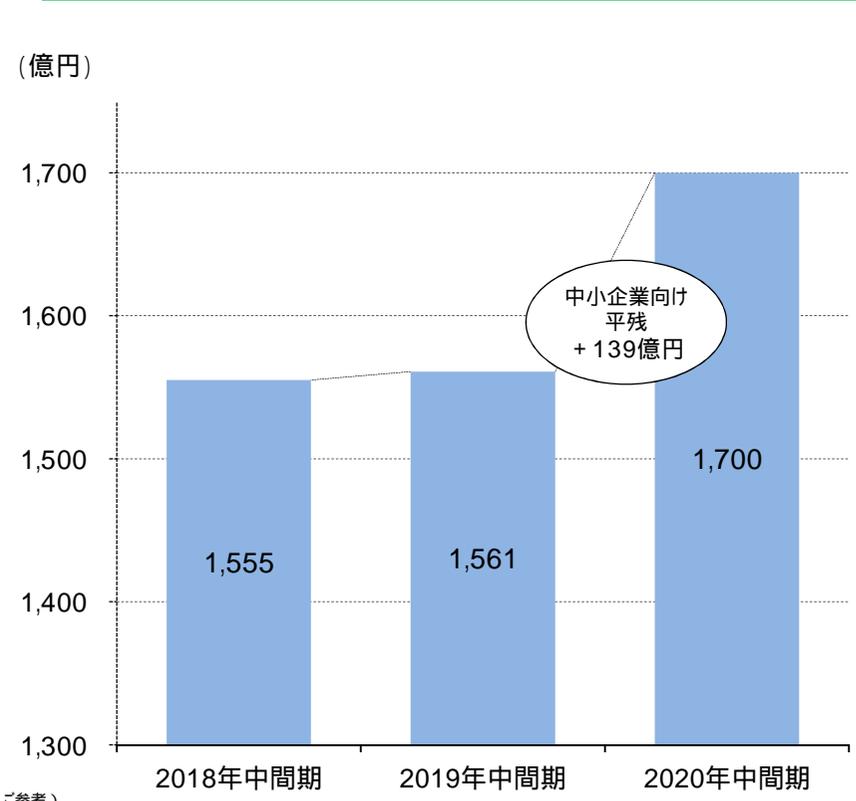
貸出金（平残）

- ・ 貸出金平残は、事業性貸出が大幅に増加し、2019年中間期比112億円増加の3,141億円となりました。
- ・ 中小企業向け貸出平残は、2019年中間期比139億円増加し、1,700億円となりました。

貸出金平残推移



中小企業向け貸出平残推移



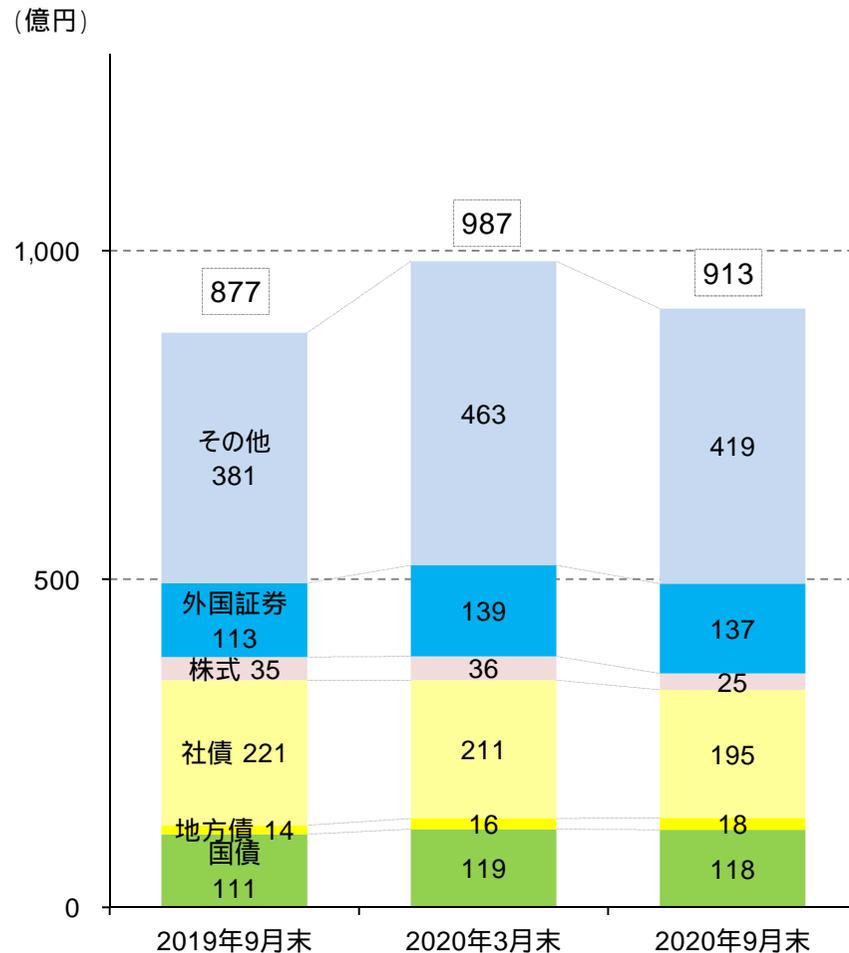
(ご参考)

企業先数 (件)	2018年中間期	2019年中間期	2020年中間期
企業先数 (件)	4,570	4,672	4,810
(前期同期比)	(+125)	(+102)	(+138)

有価証券

・有価証券評価損益は、「その他」の評価損が縮小し、2020年3月末比4億5百万円増加の4億29百万円となりました。

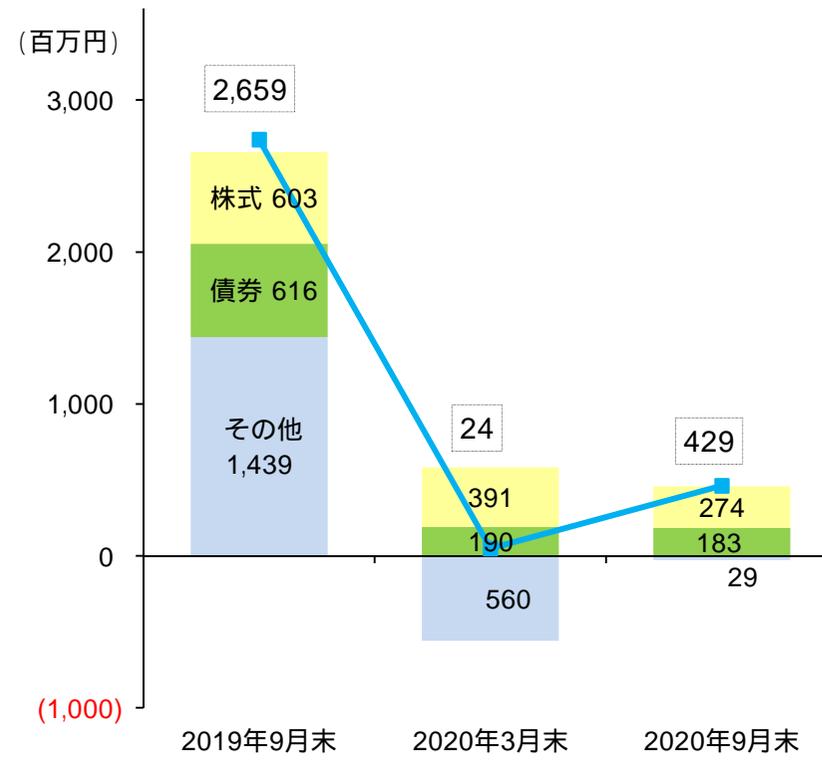
有価証券残高推移



有価証券評価損益推移

(ご参考)

日計平均株価(円)	21,755	18,917	23,185
10年債国債利回(%)	0.22	0.01	0.02
円・ドル(円)	107.9	108.4	105.6

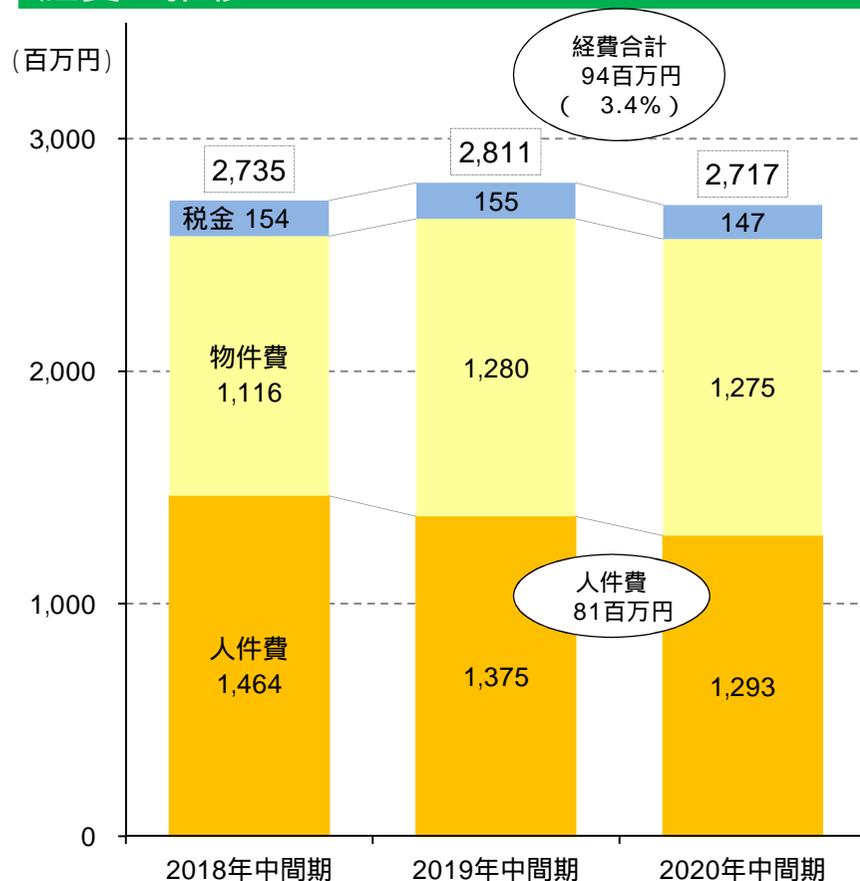


経費 / 不良債権の状況

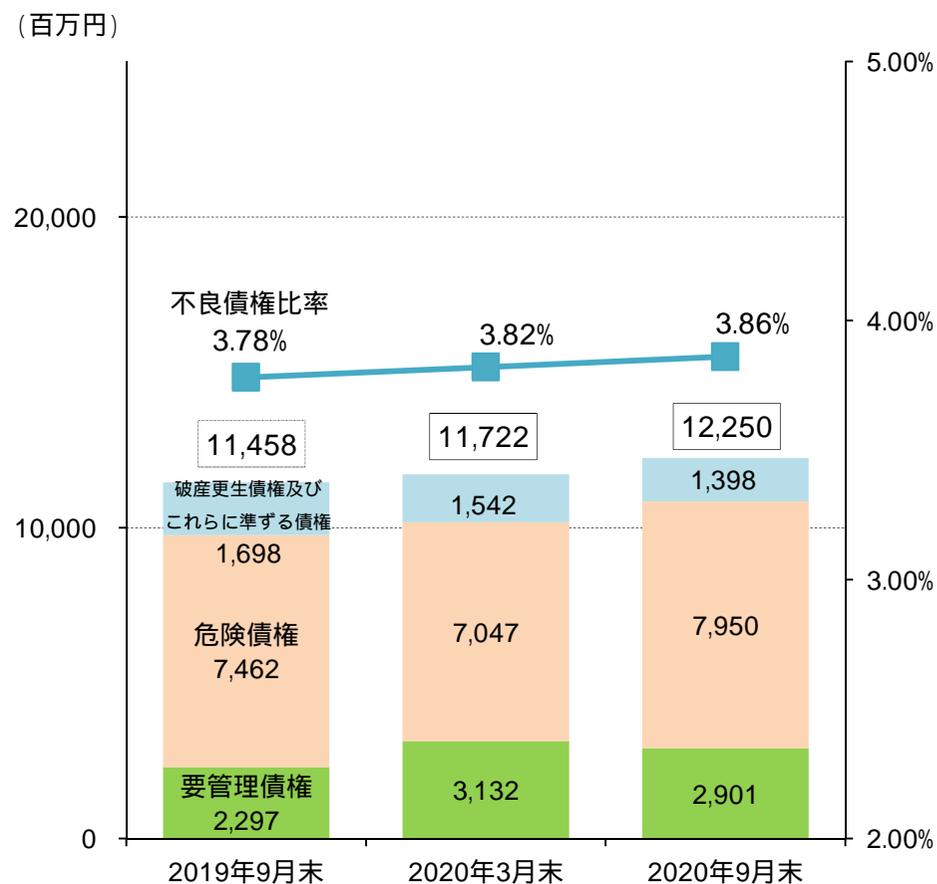
・経費は、人員減少に伴う人件費の減少に伴い、2019年中間期比94百万円減少し、27億17百万円となりました。

・不良債権比率は、コロナ禍の影響もあり金融再生法開示債権残高が増加したことにより、2020年3月末比0.04%上昇し、3.86%となりました。

経費の推移



金融再生法開示債権の推移



2020年度 通期業績予想



・2020年度通期の連結業績予想は、経常利益3.1億円及び親会社株主に帰属する当期純利益2.7億円を見込んでおります。
 (2020年5月14日に公表いたしました予想と変更ございません。)

【連結予想】 (百万円)

	2019年度	2020年度	前期比	増減率
経常利益	244	310	+66	+27.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	219	270	+51	+23.3%

連結経常利益
 ・新勘定系システムの償却負担が逡減し、経費が減少する見通しから、2019年度比増益を見込んでおります。

親会社株主に帰属する当期純利益
 ・連結経常利益の増加により、2019年度比増益を見込んでおります。

【単体予想】 (百万円)

	2019年度	2020年度	前期比	増減率
経常利益	240	310	+70	+29.2%
当期純利益	216	270	+54	+25.0%

(注) 当該業績予想につきましては、本資料発表日現在において、入手可能な情報を前提としており、今後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が長期間にわたり継続する場合には、与信関係費用の更なる増加等、当行の業績予想が変更となる可能性があります。

【1株当たり予想配当金】

	年間	うち期末
配当予想	3円00銭	3円00銭

1株当たり予想配当金
 ・当初予想と同様、1株当たり3円を予定しております。